

国土交通省・内閣府主催_地方ブロックプラットフォーム 関東・北陸ブロックサウンディング
を活用した城里町遊休資産活用におけるサウンディング調査の結果について

1 目的

町が所有する遊休地の一部について、有効活用の可能性を検討するため、民間事業者から意見を聴取しました。

2 背景

令和3年度に城里町総合管理計画の更新を行う過程で、遊休資産の有効活用が課題となりました。そのような状況を踏まえて更新された城里町総合管理計画や城里町総合計画後期基本計画及び第2期城里町創生総合戦略においても、遊休地の有効活用が施策目標に掲げられていたことから、今後の利活用を推進するための対応が必要とされていました。

3 サウンディングについて

官民連携事業に取り組む地方公共団体支援のため、国土交通省・内閣府が主催し、全国4ブロックでサウンディングを開催しています。当町では、サウンディング開催の実績がなかったことから、事業の趣旨を踏まえ、ノウハウの確保及び市場可能性の調査等を行うため、参加しました。

(1) 実施期間

- ①参加事業者募集期間 令和4年9月14日（水）～令和4年10月21日（金）
- ②サウンディング実施日 令和4年11月1日（火）

(2) 物件及び参加者数

- ①桂老人福祉センター、やまゆり荘 4社
- ②旧古内小学校、長峰団地跡地 5社

(3) 主な意見

- ①(2)①桂老人福祉センター、やまゆり荘について
施設を残したまま民間主体による利活用や売却は難しい。
町主体による利活用計画を策定し一定の資金負担の上、利活用を図ってはどうか。
桂老人福祉センターについては、更地にしての売却であれば可能性があるのではないか。
やまゆり荘の借地部分については町主体で調整を図りたい。
- ②(2)②旧古内小学校、長峰団地跡地について
市場可能性を感じる。具体的なスキーム検討のため、継続的な協議を希望。
旧古内小については、複合施設としての活用を検討しては。
長峰団地跡地については、PPP/PFI手法を活用した定住促進住宅整備の可能性を検討してはどうか。

4 今後の対応

今回のサウンディングでの意見を参考に、利活用・処分方策を検討する。
また、希望する事業者とは継続的に協議を進め引き続き利活用の可能性を検討する。